

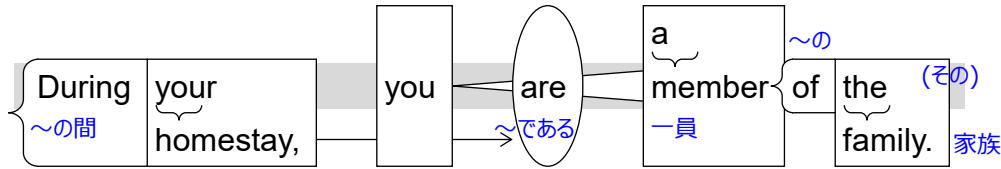
◇ Homestay Advice

ホームステイ アドバイス

ホームステイのアドバイス

◇ During your homestay, you are a member of the family.

あなたのホームステイの間、あなたはその家族の一員です。



※ the family : ホームステイ先の家族

* theで文脈・状況からわかる特定の家族に言及

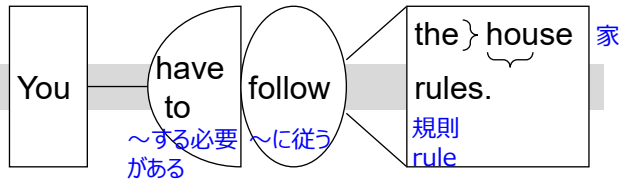
◇ You are not a guest.

(招待された)客

あなたはお客さんではありません。

◆ You have to follow the house rules.

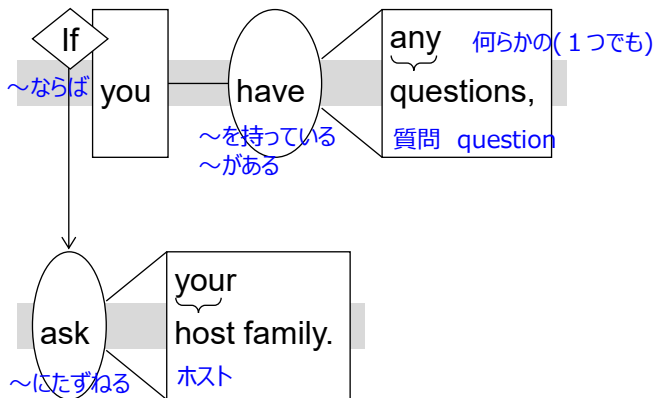
あなたはその家の規則に従う必要があります。

◆ **have to** < have to + 動詞の原形 > /hæftu/ {義務*} しなければならぬ * 客観的な必要性

* 主語が三単現なら < has to + 動詞の原形 > /hæstu/

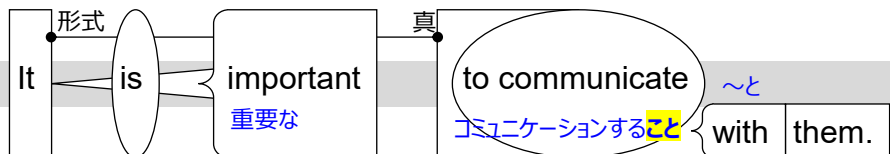
◇ If you have any questions, ask your host family.

あなたが何か質問があるなら、あなたのホストファミリーにたずねてください。



◇ It is important to communicate with them.

彼らと意思疎通することは重要です。



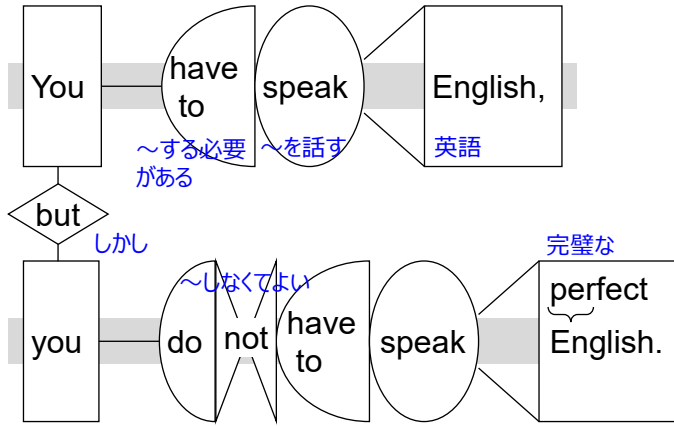
※ It is ... to ~ : ~することは ... です

※ with [] : ☆ 付帯 ~といっしょに

□ [同伴者・物] といっしょに ;

☑ [活動に含まれる他の対象物] を相手に、に対して fight with my brother(兄弟喧嘩する)

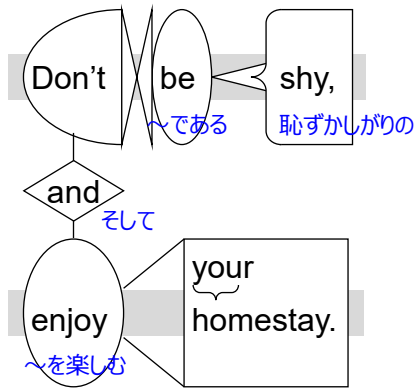
◆ You have to speak English, but you do not have to speak perfect English.



あなたは英語を話す必要がありますが、あなたは完璧な英語を話す必要はありません。

- ◆ **have to の否定文** <don't have to + 動詞の原形>
 {不必要} ～しないでよい
 * not は後ろの have to ～ (義務)を否定
 * 主語が三単現なら < doesn't have to + 動詞の原形>

◇ Don't be shy, and enjoy your homestay.

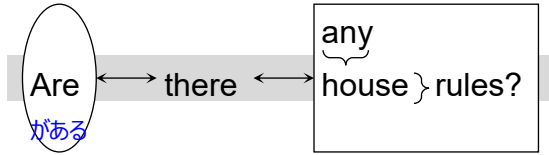


恥ずかしがらないでください、そしてあなたのホームステイを楽しんでください。

※ 「～しないでください」と指示するには、主語は無しで、
 "Don't + 動詞の原形"で文を始める

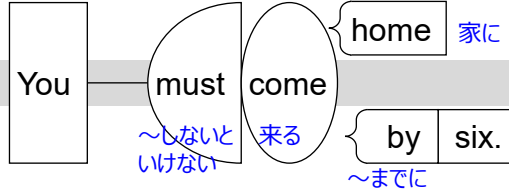
◇ Are there any house rules?

何か家の規則はありますか。



◆ Yes. You must come home by six.

はい。あなたは6時までに家に帰らなければなりません。

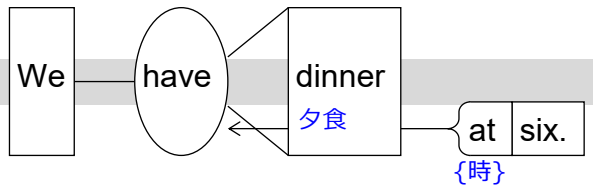
◆ 助動詞 **must** < must + 動詞の原形>

{義務*} ～しなければならない * 話し手の主観、ルール・法律

※ by [] : [時刻/日付/年など] までに ☆近接 ～によって

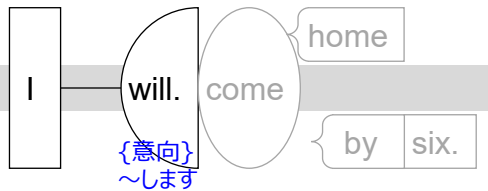
◇ We have dinner at six.

私たちは6時に夕食を食べます。



◇ OK. I will.

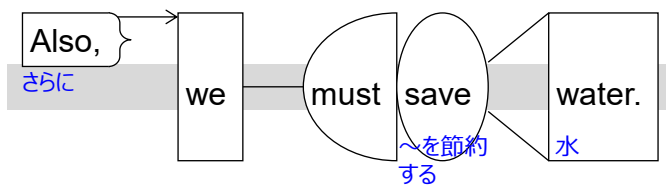
わかりました。私はそうします。



※ OK : {合意や許可を表して} オッケー、(それで)いいです

◆ Also, we must save water.

さらに、私たちは水を節約しないと いけません。



※ also : {前の文へ情報を追加する文であることを表し} さらに

◆ We must not take long showers.

私たちは長時間のシャワーを浴びてはいけません。

◆ 助動詞 **must** の否定文 < must not + 動詞の原形>

{禁止} ～してはならない

* not は後ろの動詞を否定(～しない) それが must(義務)

※ mustn't : must not の短縮形

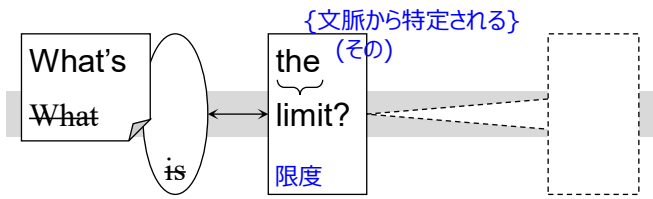
※ take [] : [活動名] を行う take a rest, a look, a bath

◇ Oh, I see.

ああ、私はわかります。→ そうですね。

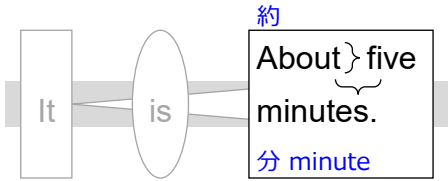
◇ What's the limit?

限度はいかほどですか。



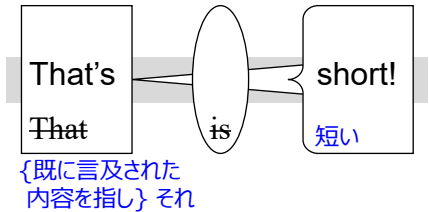
◇ About five minutes.

約5分です。



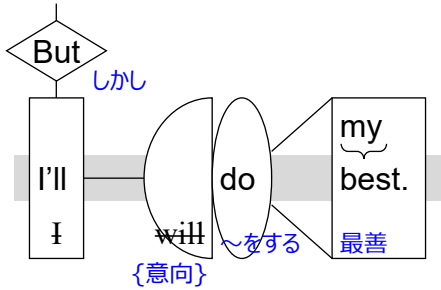
◇ Oh, . . . That's short!

おお、(シャワー限度が5分とは) それは短いです！



◇ But I'll do my best.

でも私はベストを尽くします。



※ do one's best : ～のベスト（最善）を尽くす
* one's → my, your, his, her, its, our, theirなど

◇ Thank you, Jun.

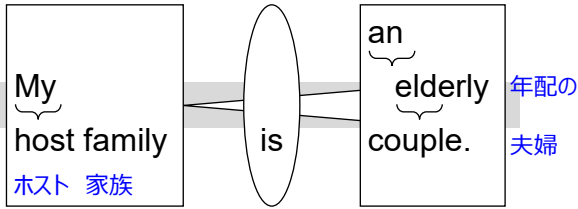
ありがとうございます、じゅん。

◇ Lucas

ルーカス

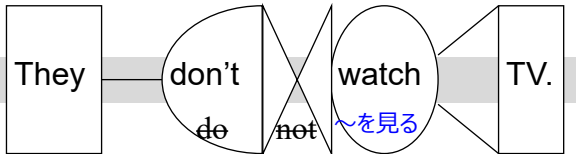
◇ My host family is an elderly couple.

私のホストファミリーは年配の夫婦です。



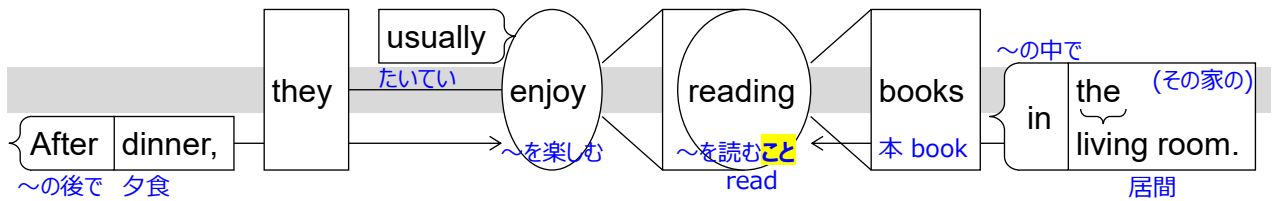
◇ They don't watch TV.

彼らはテレビを見ません。



◆ After dinner, they usually enjoy reading books in the living room.

夕食の後、彼らはたいてい居間で本を読むことを楽しめます。

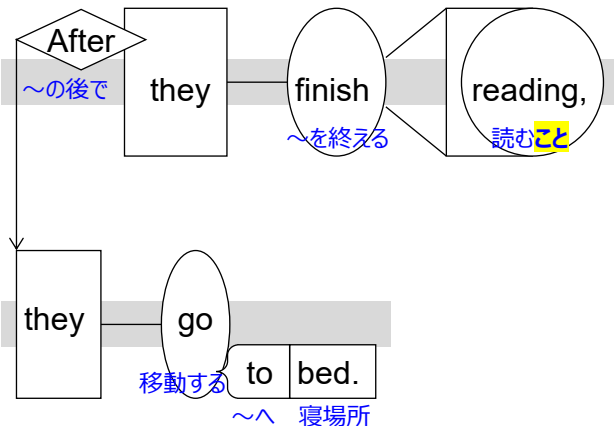


◆ 動名詞 < ...ing> ...は動詞「...すること」

※ finish, enjoy, keep などの目的語は動名詞(したこと、していることのイメージ)のみで、不定詞(これからすることのイメージ)はNG

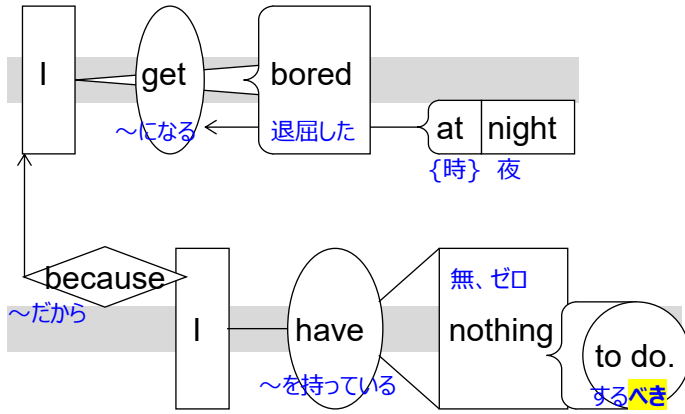
◆ After they finish reading, they go to bed.

彼らは読むことを終えた後、床につきます。



◇ I get bored at night because I have nothing to do.

私はすべきことがないので、夜は退屈になります。



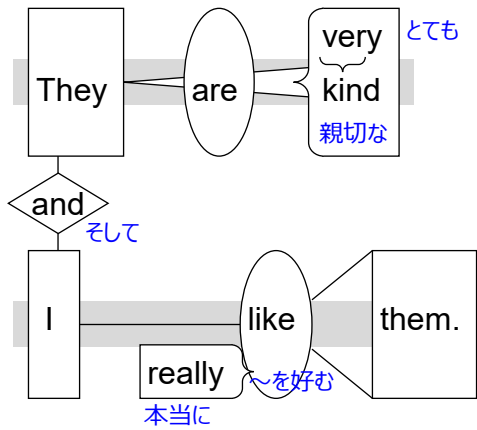
※ get [形容詞など] : {状態の変化} になる
参考) look/sound ~ : ~に見える/聞こえる

※ nothing : (無いもの) → 何も～ない、無、ゼロ
* 修飾する形容詞は後ろに置く nothing special
* something, anythingも同様 something cold

※ 不定詞(形容詞用法) < to + 動詞の原形 >
{直前の名詞を説明し} ~すべき、～するための

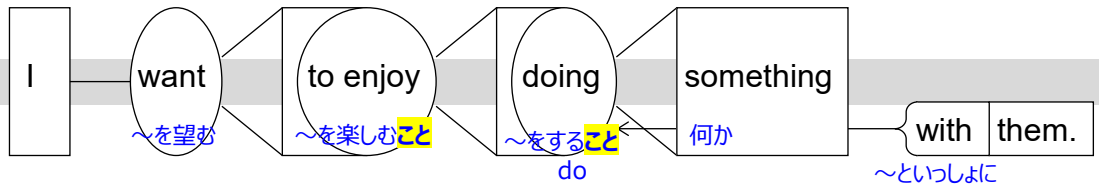
◇ They are very kind and I really like them.

彼らはとても親切で、私は本当に彼らが好きです。



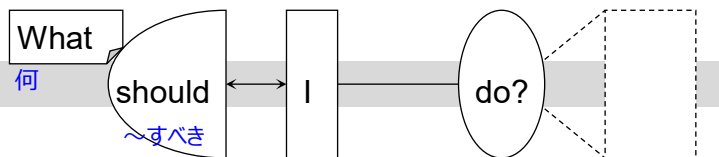
◆ So, I want to enjoy doing something with them.

なので、私は彼らと何かをすることを乐みたいです。



◇ What should I do?

私は何をすべきでしょうか。



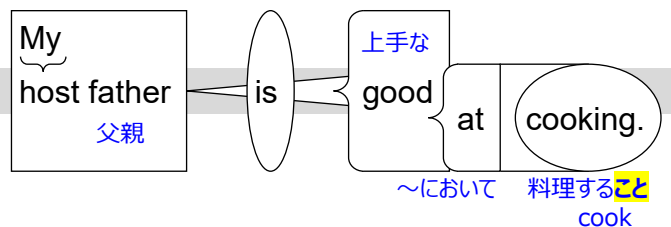
※ 助動詞 should < should + 動詞の原形 >
{理想・望ましいこと} ~すべきだ

◇ Yuna

ユナ

◇ My host father is good at cooking.

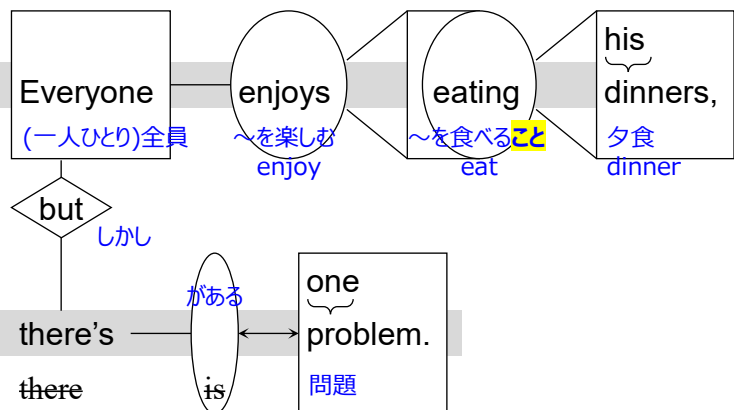
私のホストファーザーは料理が上手です。



※ at [] : [評価対象の活動・テーマ] において ☆ 一点

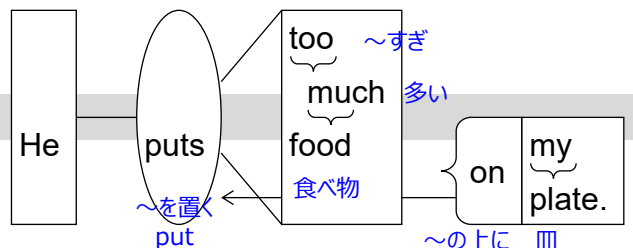
◆ Everyone enjoys eating his dinners, but there's one problem.

みんなが彼の夕食を食べることを楽しみますが、1つ問題があります。



◇ He puts too much food on my plate.

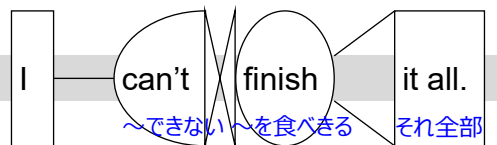
彼は私の皿に多すぎる料理をのせます。



※ put : {手などを使い特定の場所へ} 〜を移動させる、〜を置く

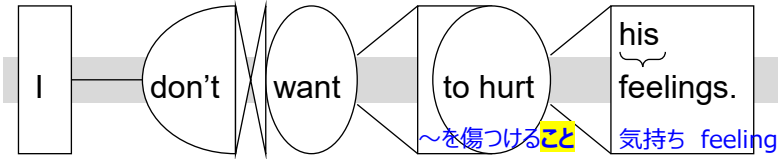
◇ I can't finish it all.

私はその全ては食べることができません。

※ finish : ☒ {残さず} 〜を食べる ;
☐ {していることを完了させる} 〜を終える※ it all : その全て = all of it *all は位置が遊離することも
them all, you allなども同様
(= all of them, all of you)

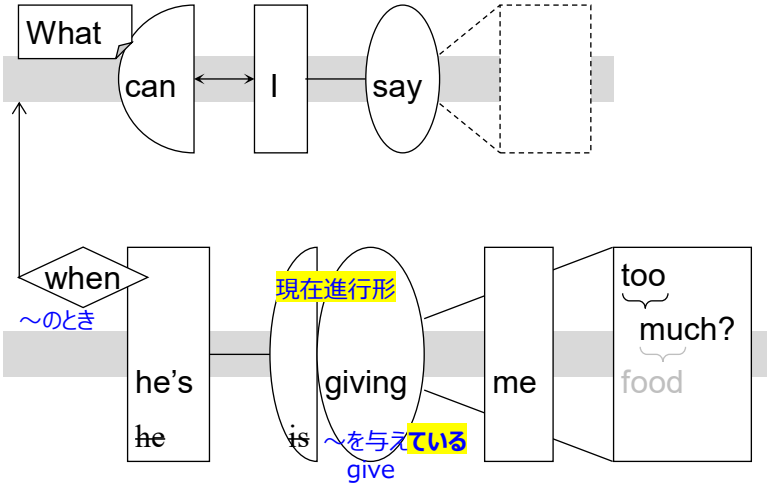
◇ I don't want to hurt his feelings.

私は彼の気持ちを傷つけたくないです。



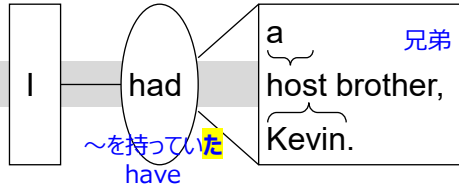
◇ What can I say when he's giving me too much?

彼が多すぎの（料理）を与えているとき、私は何と言えますか。



◇ I had a host brother, Kevin.

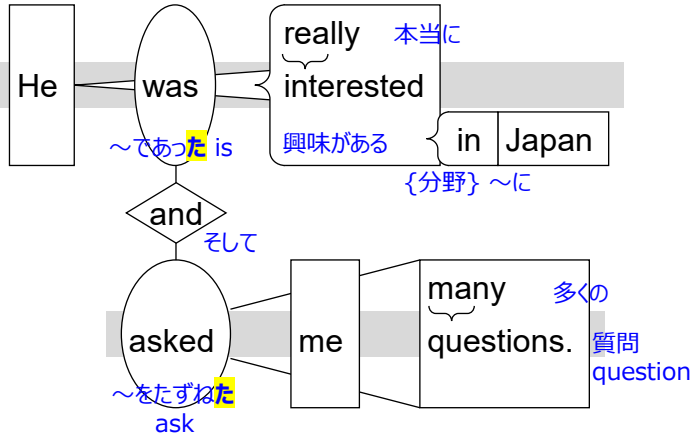
私にはホストブラザーのケビンがいました。



※ A, B : A、すなわち B {言換え、同格}

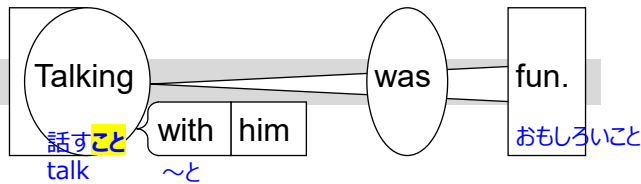
◇ He was really interested in Japan and asked me many questions.

彼は日本に本当に興味を持っていて、私に多くの質問をしました。



◆ Talking with him was fun.

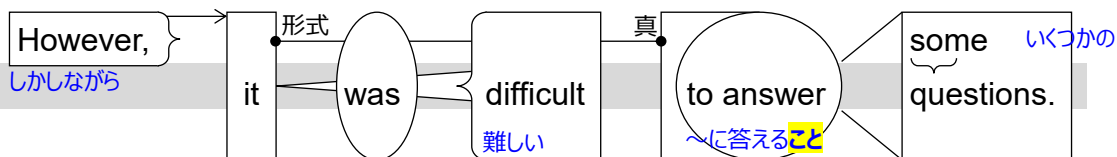
彼と話すことはおもしろかったです。

◆ 動名詞 <...ing> 「...すること」
主語としても使える

※ with [] : ☆ 付帯 ～といっしょに
□ [同伴者・物] といっしょに ;
☒ [活動に含まれる他の対象物] を相手に、に対して
fight with my brother (兄弟喧嘩する)

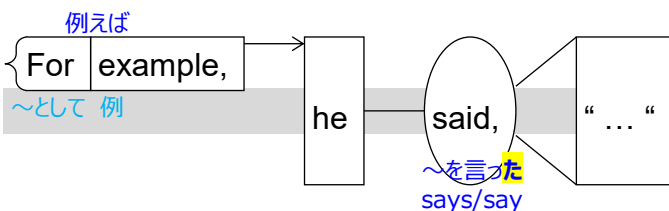
◇ However, it was difficult to answer some questions.

しかし、いくつかの質問に答えることは難しかったです。



◇ For example, he said,

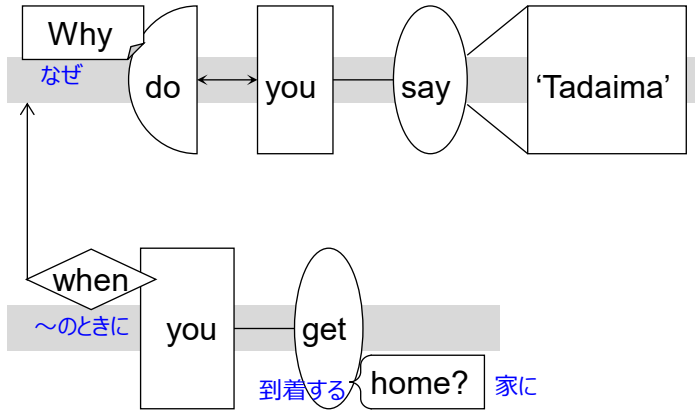
例えば、彼は言いました、



※ say ~ : ～と言う ～が引用句の場合は say, "～" と書く

◇ “Why do you say ‘Tadaiima’ when you get home?”

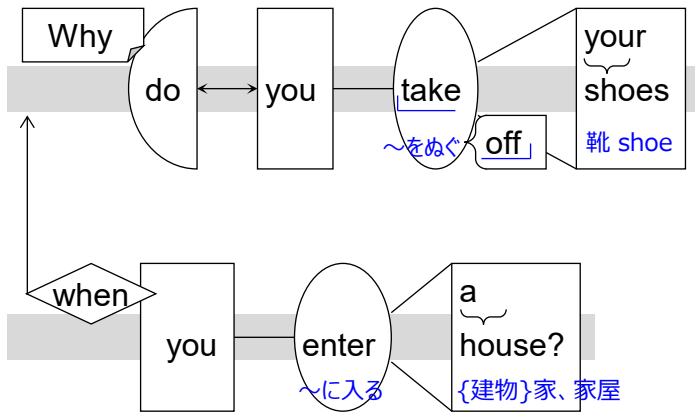
「家に着く時に、なぜあなたは「ただいま」と言うのですか。」



※ get : □ を手に入れる、を受取る ;
 ☒ 到着する get to Tokyo(東京に着く),
 get there(そこに着く) ;
 □ {状態の変化} になる get bored(退屈になる)

◇ Why do you take off your shoes when you enter a house?”

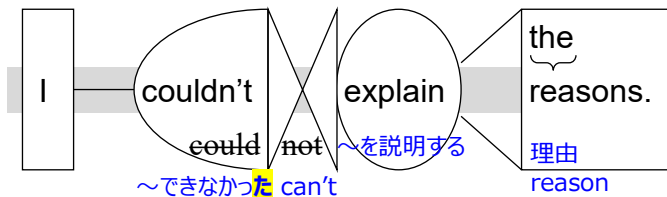
家屋に入る時に、なぜあなたは靴をぬぐのですか。」



※ [take off] ～ : ～を脱ぐ
 = take ～ off → ～が代名詞の場合はこの形のみ

◇ I couldn't explain the reasons.

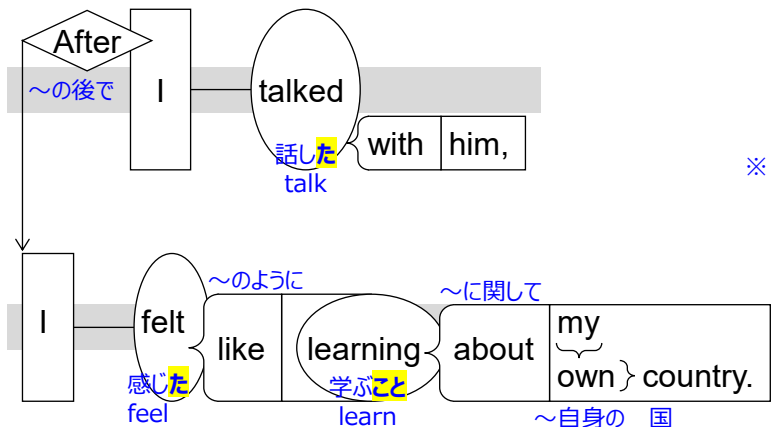
私はそれらの理由を説明できませんでした。



※ couldn't : could notの短縮形

◆ After I talked with him, I felt like learning about my own country.

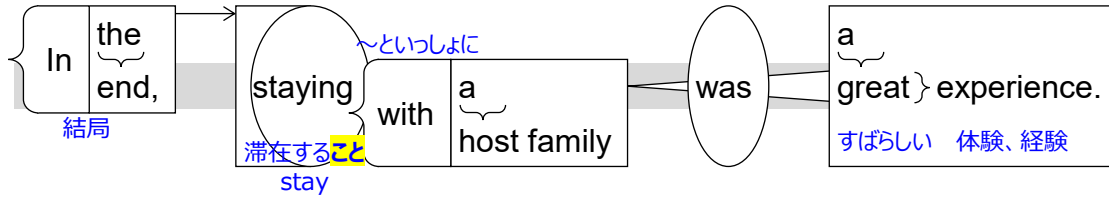
彼と話した後で、私は自身の国に関して学びたいと感じました。



※ feel like ～ :
 ☒ {感じた欲求} ～を望む ;
 □ {感じた印象・感覚} ～のように感じる
 I felt like a foreigner((自分が)外国人のように感じた)

◆ In the end, staying with a host family was a great experience.

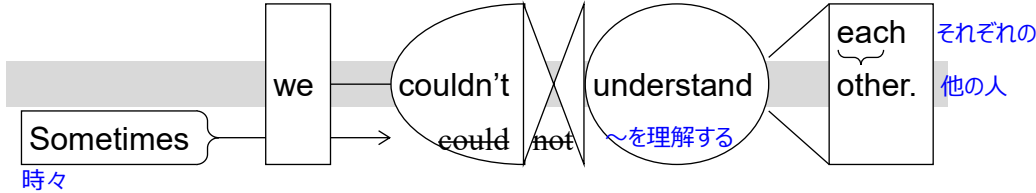
結局、ホストファミリーと滞在することは素晴らしい体験でした。



※ in the end : {全てが行われた後やよく考えた後} 結局、最後には
 ≡ eventually {長い期間や多くの出来事・苦労などの後}

◇ Sometimes we couldn't understand each other.

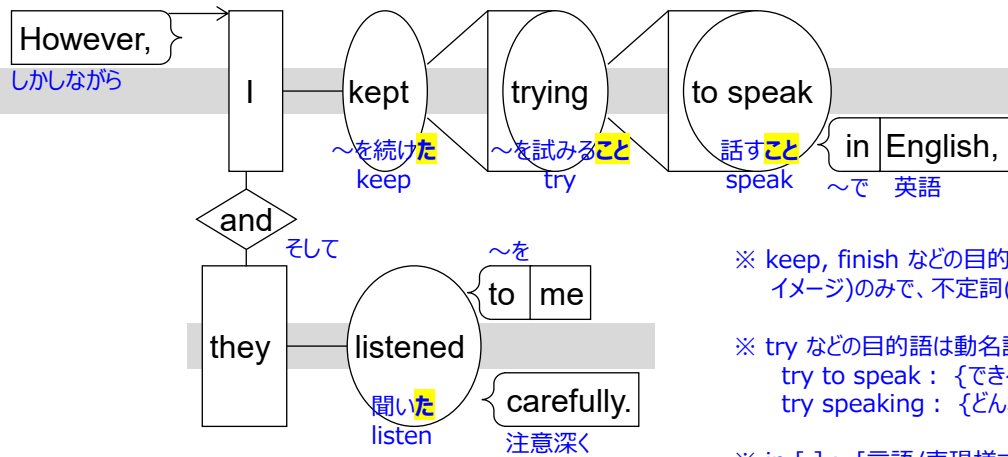
時々、私たちはお互いを理解できませんでした。



※ each other : お互い (代名詞) 主語では使わない
 ※ each ~ : それぞれの~

◆ However, I kept trying to speak in English, and they listened to me carefully.

しかしながら、私は英語で話そうとすることを続けました、そして彼らは注意深く私の言うことを聞きました。



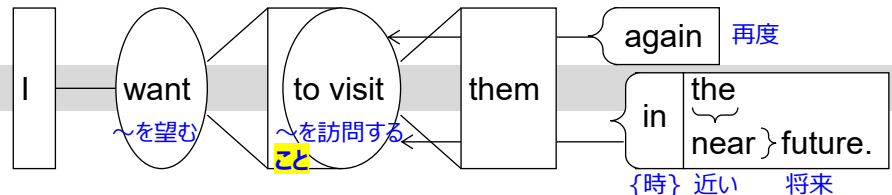
※ keep, finish などの目的語は動名詞(したこと、していることのイメージ)のみで、不定詞(これからすることのイメージ)はNG

※ try などの目的語は動名詞、不定詞ともOK、意味は異なる
 try to speak : {できるよう努力} 話そうと試みる
 try speaking : {どんなものか試用} (試しに)話してみる

※ in [] : [言語/表現様式など] で write in red ink
 ☆ ~の中 (赤インクで書く)

◇ I want to visit them again in the near future.

私は近い将来に再度、彼らを訪問したいです。



※ want, hope などの目的語は不定詞(これからすることのイメージ)のみで、動名詞(したこと、していることのイメージ)はNG